

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は 2022 年度日本陸上競技連盟競技規則、日本マスターズ陸上競技連合競技規則および本大会申し合わせ事項により行う。(注) 2022 年度の陸連規則の修正項目はこれを適用しない。

2022 年 1 月 1 日に改正された WA 競技規則 TR5 と、新たな「競技用靴に関する規定」に基づき、靴底の厚さのチェックは実施しない。ただし、審判長はいつでもシューズチェックする権限を持ち、参加者はその指示に従わなければならない。競技後シューズの違反が認められたときは「失格扱い」となり、記録が取り消される場合がある。(スパイクピンのチェックは一次招集時に行う。)

靴底の厚さに関する規定(TR5.13.3) 表

種 目	靴底最大の厚さ TR5.、TR5.13.3	要件・備考
フィールド競技(除:三段跳)	20mm	投てき種目と三段跳を除く跳躍種目に適用する。 全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
トラック種目 (ハードル種目を含み、800m 未満の種目)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (障害物競走を含み、800m 以上の種目)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
競技場内で行う競歩	40mm	
道路競技(競走・競歩)	40mm	

なお、本大会はフィールド競技シューズ規則(上記)の適用を除外する。

2. 競技場について

- ① 競技者・付添等関係者の競技場への入場は南側黄門入口からのみとする。その際、選手証(リストバンド)の交付を受けること。
- ② 退場口は、エントランスホール正面のみとする。再入場する場合は、南側黄門からとし、選手証(リストバンド)を競技役員に提示すること。(注) 北側黄門、南北青門は終日閉鎖とする。
- ③ メインスタンドは選手および付添者の待機場所として使用する。サイドスタンドおよびバックスタンドへの立入・使用は禁止とする
- ④ エントランスホール附近およびメインスタンド軒下通路での場所取りをしないこと。
- ⑤ 競技場の室内(エントランスホール・更衣室等)では不織布マスクを着用すること。

3. 更衣について

- ① 競技者の更衣用として、更衣室を男女別に各 1 室を開放する。
- ② 更衣室内の使用は 5 人までとし、更衣後は直ちに退出すること。なお、マスク着用のうち会話はしないこと。更衣した荷物を置かないこと。シャワー使用は可能だが、更衣室の他の利用者に配慮して短時間とすること。

4. 練習について

- ① 練習専用場所は設置されていないので、競技時間時の競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。
- ② 投てき種目の練習は競技開始前に競技役員の指示に従い、投てき場内で行うこと。

5. 競技者・付添者の入場・受付について

競技者・付添者の入場は8時50分からとする。

① 検温・手指消毒について

競技場のへの入場の際には、検温・手指消毒を行うこと。

② 「体調管理チェックシート」の提出について

競技者・付添者とも競技者受付で氏名等の確認を受け、「体調管理チェックシート」を提出すること。

③ 「選手証（リストバンド）」の装着について

競技者・付添者とも選手証（リストバンド）を競技者受付で受け取り手首に装着すること。

6. 招集について

① 1次招集 招集場所：(南側黄門内側)

種目ごとに下記の時間帯にアスリートビブス、スパイクの確認を受けることで1次招集の完了とする。

	トラック	フィールド
開始時刻	競技開始 60 分前	競技開始 90 分前
完了時刻	競技開始 30 分前	競技開始 60 分前

2種目参加の競技者で招集時間が重なる場合は、競技者係に申し出て2種目同時に1次コールを受けること。

② 2次招集 招集場所：現地（トラック種目：スタート地点、フィールド種目：競技場所）

	トラック	フィールド
開始時刻	競技開始 20 分前	競技開始 40 分前
完了時刻	競技開始 10 分前	競技開始 30 分前

③ 1次、2次招集に遅れた競技者は欠場として処理する。

④ 競技者は、プログラムに記載されたアスリートビブスで出場すること。変更はできない。
ただし、3000mおよび5000mは、別アスリートビブス（ナンバーカード）を使用する。

7. 競技について

① トラック競技の競技者は1次招集場所でシール付き腰ナンバー標識を受け取り、右腰に貼る。ただし、3000m、5000mは2枚受け取り左右の腰に貼る。

② 男女5000mはグループスタートで行う。

③ 800mはオープンスタートで行う。

④ 5000mは28分、3000mは18分で次の周に入ることにはできない。

⑤ スパイクピンの長さは、全天候舗装競技場では「9mm」以下を使用すること。ただし、「走高跳・やり投」については「12mm」以下とする。ピンの本数は「11本」以内とする。

⑥ 走高跳を除くフィールド競技において、3回目までの試技によって、各クラスベスト8（同記録の者が複数ある場合はその全て）を選出し、追加の試技を行う。ベスト8の試技回数は1回とする。

⑦ 走幅跳および三段跳の踏切位置は下表のとおりとする。

種目	踏切位置
走幅跳	1m、2m
三段跳	5m、7m、9m、11m、13m

⑧ 走幅跳および三段跳は、メインスタンド側ピットで行う。

⑨ 走高跳のピットは南側ゾーンに設置する。

- ⑩ 走高跳のバーの上げ方は、別表2を基準とし、審判主任の指示に従う。
- ⑪ 投てき競技の公式練習は2回とする。ただし、ハンマー投は1回とする。

8. 免責事項について

- ① 競技中に生じた事故について、応急処置の他一切の責任を負わないので、各自傷害保険等に加入しておくこと。
- ② 競技会に関わる全ての人の感染に対する一切の責任を負わない。
- ③ 会場内での紛失・盗難などについて、一切の責任を負わない。

9. その他

- ① トラック競技でフィニッシュした競技者は本部前を通らないこと。
- ② 記録は、Web ページ(大阪マスターズホームページ)で確認すること。記録ボードは設置しない。
- ③ 声を出しての応援は禁止する。
- ④ すべての競技者は、競技中もしくは試技中以外はマスク着用を徹底し、競技終了後に手洗い・消毒を行うこと。
- ⑤ 横断幕、のぼりの設置は禁止する。
- ⑥ ごみ箱は設置していないため、ごみ等は必ず持ち帰ること。
- ⑦ アスリートビブスがない場合、番号布を販売(1枚100円)するので、各自で作成すること。
- ⑧ スタートリストの記載漏れや訂正は大会本部まで申し出ること。
- ⑨ 盗難が多発しているため貴重品は各自で保管するなど持ち物の管理には注意すること。

<別表1>投てき用具の最小重量基準

	クラス	砲丸・ハンマー	円盤	やり
男子	M-24~M45	7.260 kg	2.0 kg	800g
	M50~M55	6.0 kg	1.5 kg	700g
	M60~M65	5.0 kg	1.0 kg	600g
	M70~M75	4.0 kg	1.0 kg	500g
	M80+	3.0 kg	1.0 kg	400g
女子	W-24~W45	4.0 kg	1.0 kg	600g
	W50~W55	3.0 kg	1.0 kg	500g
	W60~W70	3.0 kg	1.0 kg	500g
	W75	2.0 kg	0.75 kg	400g
	W80+	2.0 kg	0.75 kg	400g

<別表2>走高跳のバーの上げ方基準

性別	クラス	バーの高さ			
		練習	走高跳バーの上げ幅		
男子	M-24~M30	1.35m	1.40m	1.45m	以後5cm刻み
	M35	1.35m	1.40m	1.45m	
	M40	1.25m	1.30m	1.35m	
	M45	1.25m	1.30m	1.35m	
	M50	1.20m	1.25m	1.30m	
	M55	1.10m	1.15m	1.20m	
	M60	1.00m	1.05m	1.10m	
	M65	1.00m	1.05m	1.10m	
	M70	0.95m	1.00m	1.05m	
	M75	0.95m	1.00m	1.05m	
女子	W-24~W25	1.20m	1.25m	1.30m	以後3cm刻み
	W30	1.20m	1.25m	1.30m	
	W35	1.10m	1.15m	1.20m	
	W40	0.95m	1.00m	1.05m	
	W45	0.85m	0.90m	0.95m	
	W50	0.85m	0.90m	0.95m	
	W55	0.80m	0.85m	0.90m	
	W60	0.80m	0.85m	0.90m	
	W65	0.75m	0.80m	0.85m	
	W70	0.75m	0.80m	0.85m	
W75	0.75m	0.80m	0.85m		
W80~	0.75m	0.80m	0.85m		